

この取扱説明書は、必ず最終ユーザー様までお届けください。

本取扱説明書・保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

保存用



タケツナ  
株式会社 竹綱製作所  
(2007年4月第1版)

# ポータブルドライヤ PD-11 取扱説明書・保証書

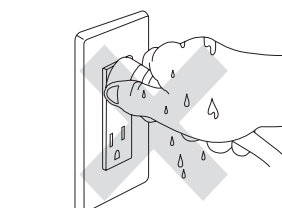


## ご使用前に必ずお読みください。

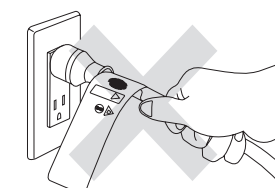
- ◆このたびはポータブルドライヤをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- ◆本体の銘板シールにて型式、品番、電圧がご注文の製品に相違ないかをご確認ください。
- ◆この取扱説明書は保証書を兼ねております。お読みになったあとは大切に保管してください。  
※保証書の提示がない場合、保証期間内であっても無償修理が適用されません。
- ◆ご使用前に銘板シール記載の型式、品番を保証書に必ず転記してください。メンテナンス時に必要です。
- ◆本製品には可能な限り安全回路が組み込んでありますが、これらの動作確認のためにも、定期的  
に点検依頼を申しつけてください。
- ◆電源には十分な容量を確保した商用電源を使用してください。周波数変換器等は使用しないで  
ください。

**TSK 熱風発生機**

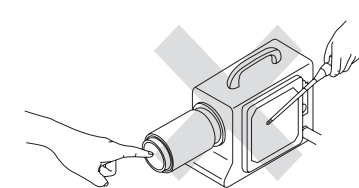
## 次のようなことは絶対に避けてください。 事故や故障の原因になります。



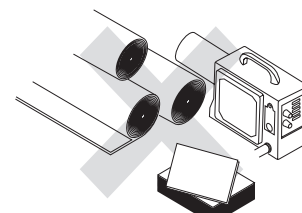
●ぬれた手で操作しないでください。



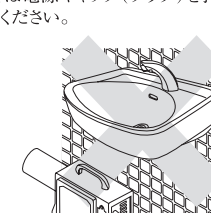
●電源キャップ(プラグ)をコンセントから抜くときは電源キャップ(プラグ)を持って抜いてください。



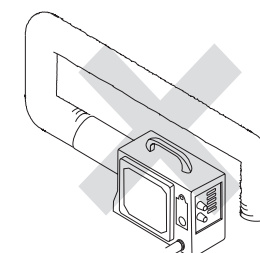
●機体内部へ絶対に指を入れないでください。吸入口や吐出口から異物を入れることは絶対にやめてください。また、改造は絶対におこなわないでください。



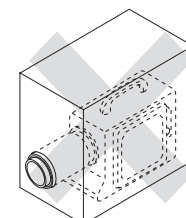
●ご使用時は、紙などの燃えやすいものの付近に放置しないでください。



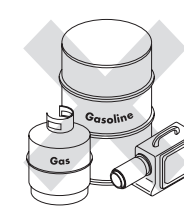
●このような場所でのご使用は漏電事故の原因となり、大変危険です。



●長い配管、細い配管は風量が減少し、ヒータ内部で異常過熱しますのでご注意ください。長い配管は熱ロスが大きくなり、不経済です。  
●本機への電源投入時、発熱体には触れないでください。感電のおそれがあります。



●密閉した箱の中では絶対に使用しないでください。また、吸入口や吐出口をふさがないでください。



●ガソリン、ガスの近くなど、引火の恐れのある場所では絶対に使用しないでください。

●カーボン繊維等の通電性浮遊物のある場所では絶対に使用しないでください。

●事故防止のため、幼児には絶対にふれさせないでください。

## 保証書

|        |                 |        |                  |
|--------|-----------------|--------|------------------|
| 型 式    | PD-11           | 品 番    |                  |
| お客様    | お名前             |        |                  |
|        | ご住所 〒 ( ) -     |        |                  |
| お買い上げ日 | 年 月 日           | 取扱販売店名 | 住所・電話番号<br>( ) - |
| 保証期間   | お買い上げ日より<br>2 年 |        |                  |

保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には下記の掲載内容にもとづき無償修理いたします。保証書を添付のうえ、ご返送ください。現地の出張修理は承っておりません。

(注意) 次のような場合は保証の範囲に含まれません。

(注意) 本書は日本国内において有効です。

- 保証書のご提示がない場合
- 誤ったご使用や不注意なお取扱による故障および異常電圧による故障・損傷の場合
- 分解や改造されたもの
- 弊社製品が原因によらないオーバーヒートによる損傷
- 地震、台風、水害、火災、塩害等による損害
- 結露によるさび発生、漏電
- ホコリ、オイルミストによる損傷
- 通電性のあるカーボン繊維等の付着による漏電
- お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- 代金の決済を怠ったとき
- 取扱説明書にしたがった使用方法でない場合

(注意) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- 消耗部品、塗装
- 装置を使用できなかった事による不便さおよび損失。または二次損失等(電話代、休業補償、商業損失等)
- やむを得ない現地修理の際に発生する交通費、宿泊費等

TSK 熱風発生機

製造販売元

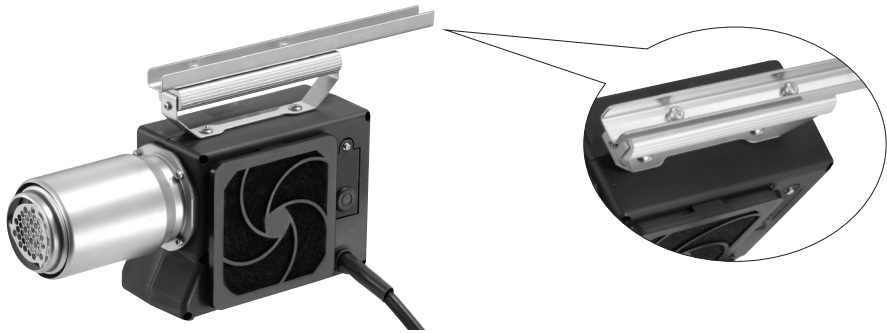


タケツナ  
株式会社 竹綱製作所

本 社 〒577-8566 大阪府高井田市西目4番18号  
(06) 6785-6001 (代) FAX (06) 6785-6002  
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田3丁目4番4号  
(03) 5710-2001 (代) FAX (03) 5710-2005  
ホームページ www.taketsuna.co.jp

## 1. 据え付け

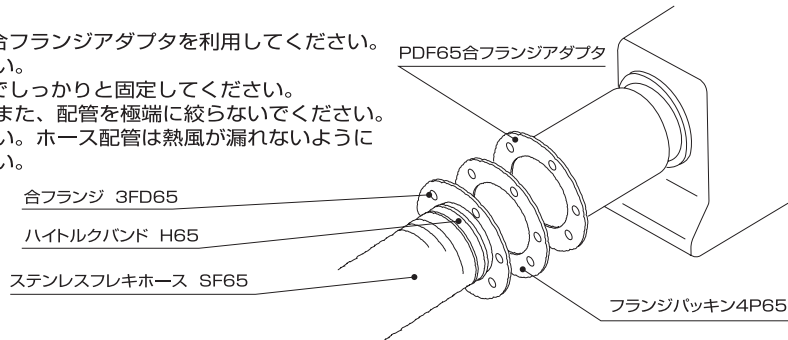
- 1 風雨にさらされない乾燥した、風通しのよい場所（屋内）でご使用ください。密閉した箱の中では絶対に使用しないでください。
- 2 ガソリン、ガスの近くなど引火の恐れのある場所では絶対に使用しないでください。また、ヒータケースカバーは高温熱風吐出時には熱くなりますので、火傷や可燃物への引火には充分注意してください。
- 3 通電性浮遊物（カーボン繊維等）のある場所では絶対に使用しないでください。
- 4 周囲温度0℃～+40℃以外の場所、周囲湿度85%R.H.以上（結露・凍結）の場所では使用しないでください。
- 5 取手には本体固定用穴（M6 2ヶ所）を設けています。必要に応じて取手を利用し、しっかりと本体を固定してください。また、オプションにて固定金具（型式：PDL）をご購入いただいた場合は、本体側面の固定金具取付穴（M4インサートナット 4ヶ所）を利用し、任意の位置に取りつけてください。



- 6 幼児が触れる恐れのある場所では絶対に使用しないでください。
- 7 本体の設置方向（上向き、下向き、前後左右傾斜）に制限はありません。ただし、運転停止操作時には内部温度に対応した自動冷却運転をおこないますので、必ず本体の運転入切ツマミでの停止、または外部運転／停止端子での停止をおこなってください。元電源を遮断した場合、自動冷却運転がおこなわれず、取付姿勢状態によっては余熱により本体が故障します。
- 8 パソコン、ラジオ、計測機器等のノイズの影響を受けやすいものの近辺では使用しないでください。
- 9 入出力サービス端子を使用する場合は、各配線にノイズ等が乗らないように十分に注意してください。
- 10 ホコリ等の多い場所では使用しないでください。
- 11 吸入口（フィルタ）はふさがないでください。また、充分な空間距離を確保してください。
- 12 熱風運転時に本機が吐出した熱風のはね返り等による熱の影響を受けないように注意してください。

## 2. 配管

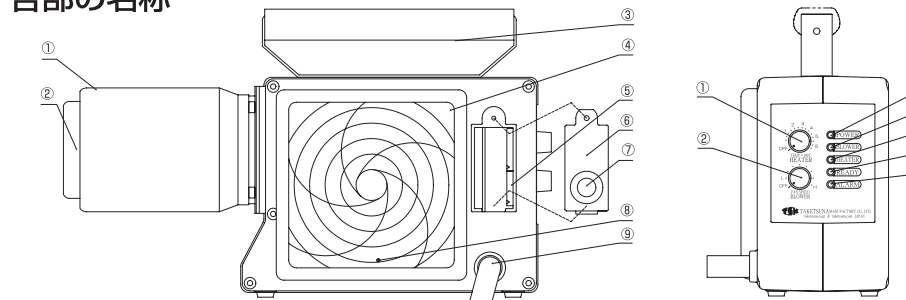
- 1 配管をおこなう場合は、必ずPDF65合フランジアダプタを利用してください。熱風吐出口に直接配管しないでください。
- 2 PDF65合フランジアダプタはバンドでしっかりと固定してください。
- 3 配管はできるだけ短くしてください。また、配管を極端に絞らないでください。
- 4 吸入口、吐出口をふさがないでください。ホース配管は熱風が漏れないようにバンドでしっかりと締めつけてください。



## 3. 電源

- 1 ポータブルドライヤの電源電圧に合った専用電源を用意してください。
- 2 100V（120V：海外用）電源の機種は同じコンセントの電源で他の機器と同時に使用しないでください。
- 3 延長コードを使用される場合は電圧降下を考慮してください。
- 4 200V（230V：海外用）電源の機種は必ずアース工事（300V以下：D種接地）をしてください。
- 5 他の機器と連動させて高頻度で電源を入り切りしないでください。
- 6 日本国内用（100V・200V電源機種）は海外で使用しないでください。
- 7 本機には運転停止操作時に内部温度に対応した自動冷却運転機能が装備されています。これは元電源の遮断時には作動しませんので、元電源の遮断による運転停止をおこなうような回路を組まないでください。

## 4. 各部の名称



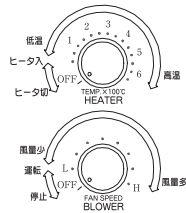
- ①ヒータケースカバー  
高温熱風吐出時は熱くなるため、火傷や可燃物への引火に注意ください。
- ②熱風吐出口  
吐出ノズルPDLN70、PDF65合フランジアダプタが取り付け可能です。
- ③取手  
本体固定用穴（M6 2ヶ所）付
- ④吸入口、フィルタ  
吸入口をふさがないでください。フィルタは定期的に水洗済してください。

- ⑤サービス端子用8Pコネクタ  
8PのXHコネクタを使用して運転、ヒータ入切をコントロールしたり異常出力などをおこないます。
- ⑥サービス端子カバー  
フィルタ未通過のエアを吸入しますので運転時は必ず取り付けてください。
- ⑦信号線用取付グロメット  
サービス端子の信号線を通すとき、最小限の穴をあけて使用してください。
- ⑧温度ヒューズ遮断確認LED（赤、フィルタ内部）  
温度ヒューズが溶断して安全回路リレーが閉になると通電時でも消灯します。（要修理依頼）
- ⑨電源ケーブル  
所定の定格電力を供給してください。3芯の白線はアース線です。

- ①ヒータ入切、温度設定ツマミ  
OFFは運転時に送風、吐出温度を常温～650℃の範囲で設定します。
- ②運転入切、風量設定ツマミ  
OFFは停止、運転時は送風機の回転数設定により風量を調節します。
- ③電源LED（緑）  
電源供給時に点灯します。
- ④送風機LED（緑）  
送風機運転時に点灯します。
- ⑤ヒータ出力LED（赤）  
ヒータ出力時に点灯します。
- ⑥温度到達検知LED（緑）  
吐出温度が設定温度に対して±15℃以内の時に点灯します。
- ⑦異常出力表示LED（黄）  
内部過熱防止作動時に点灯します。

## 5. 運転手順

- 1 ポータブルドライヤの電源電圧に合った電源を供給してください。約2秒間アラーム音が鳴動し、電源LED（緑）が点灯します。
- 2 運転入切、風量設定ツマミを回して、任意の風量を設定してください。送風機が運転を開始し、送風機LED（緑）が点灯します。
- 3 ヒータ入切、温度設定ツマミを回して、任意の温度を設定してください。熱風運転を開始し、ヒータLED（赤）が点灯します。
- 4 吐出口熱風温度が設定温度の15℃以内に入ると温度到達検知LED（緑）が点灯します。
- 5 運転を停止する場合は必ず本体の運転入切ツマミにて運転を停止するか、またはサービス端子の外部運転／停止端子（3.RUN）を利用し運転を停止してください。停止操作後にチャープ音が鳴動し、内部温度に応じた風量にて自動冷却運転をおこない、内部温度が安全温度に達してから自動的に運転を停止します。電源コードを引き抜いたり、元電源を遮断した場合は、自動冷却運転がおこなわれず、取付姿勢状態によっては余熱により本体が故障します。また、運転停止状態にて外部から熱の影響を受け、本体温度が安全温度を超えた場合は、自動冷却運転（送風運転）が再度作動する場合がありますので、設置雰囲気には充分注意してください。また、自動冷却運転機能は本機の内部保護用のため、自動冷却運転終了後でもヒータケース等の各部が熱い場合もあります。よって、火傷にも注意した上で、各部が充分に冷めてから、収納等をおこなってください。



当社ホームページ内の『PD-11 テクニカルデータ』内にも、自動冷却運転機能の詳細について掲載しておりますので、ご参照ください。

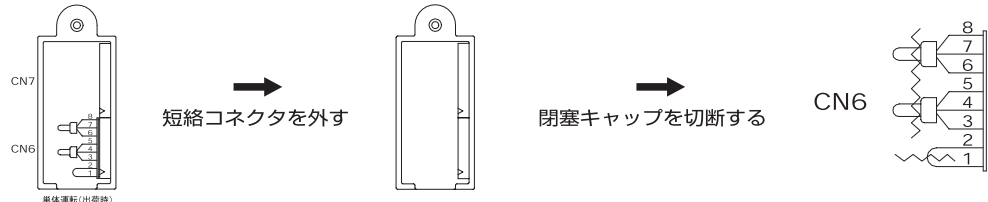
## 6. 異常検出

- 1 ヒータ内部が異常過熱時、異常過熱温度レベルにより、ヒータをOFFにして送風運転、または運転を停止します。異常過熱温度レベル1…ヒータをOFFにして送風運転（冷却後、自動復帰）  
異常過熱温度レベル2…ヒータをOFFにして送風運転（冷却後、自動復帰）、ブザー警告、異常出力表示LED点灯、及び異常（6. ALM）出力  
異常過熱温度レベル3…運転停止（冷却後、手動復帰）、ブザー警告、異常出力表示LED点灯、及び異常（6. ALM）出力  
送風機が過電圧、過電流等の異常時、異常レベルにより、ヒータをOFFにして送風運転、または運転を停止します。
- 2 異常レベル1…ヒータをOFFにして送風運転（異常解除後、自動復帰）、ブザー警告、異常出力表示LED点灯、及び異常（6. ALM）出力  
異常レベル2…運転停止（異常解除後、手動復帰）、ブザー警告、異常出力表示LED点灯、及び異常（6. ALM）出力  
温度ヒューズが断線、及び各センサが断線時、運転が停止し、ブザー警告、異常出力表示LED点灯、及び異常（6. ALM）が出力されます（温度ヒューズ断線時は温度ヒューズ溶断確認LEDが消灯します）。この場合、本体が損傷状態である可能性が高いため、返却修理を申しつけてください。

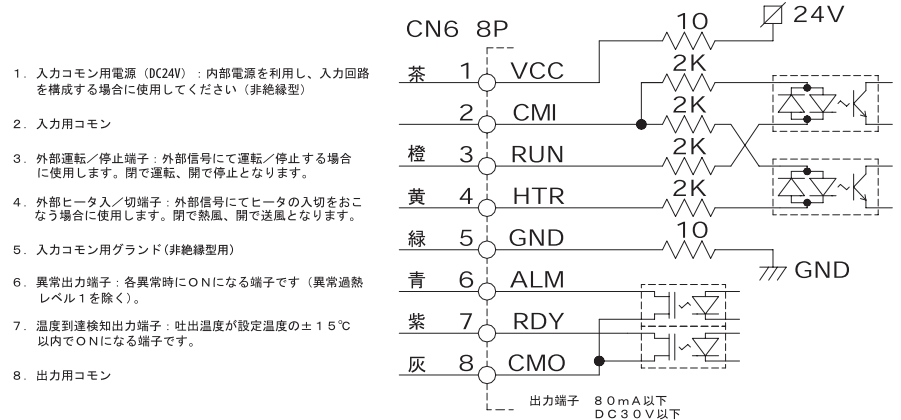
当社ホームページ内の『PD-11 テクニカルデータ』内にも、各LEDの点灯状態による本機の運転状況、及び異常状況内容について掲載しておりますので、ご参照ください。

## 7. 入出力サービス端子

- 1 入出力サービス端子を使用される場合は、短絡コネクタを外して閉塞キャップを切断し、短絡コネクタに外部配線後、再度、取りつけて使用してください。本機内部へ短絡コネクタを落とさないように注意してください。



- 2 入力、出力信号の種類によって、配線してください。



サービス端子の詳細、注意事項、及び配線例は当社ホームページ内の『PD-11 テクニカルデータ』を、ご参照ください。

### 注意

- 外部運転入力時でも操作パネルのヒータ入切、温度設定ツマミ、及び運転入切、風量設定ツマミは有効です。
- 外部運転／停止端子が停止（閉）の場合、外部ヒータ入／切端子は無視されます。
- 外部運転／停止端子による運転停止の閉閉頻度制限は60秒以上です（外部ヒータ入／切は閉閉頻度の制限はありません）。
- 入出力サービス端子を接続する場合は、必ず電源を遮断しておこなってください。
- 入出力サービス端子に規格外の電圧をかけた場合、本体が破損します。